



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
 プロトンポンプ阻害剤 [薬価基準収載]
パリエット® 錠 10mg
 錠 20mg
 <ラベプラゾールナトリウム製剤> www.pariet.jp

製造販売元 **Eisai** エーザイ株式会社
 東京都文京区小石川4-6-10
 製品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン
 フリーダイヤル 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日9~17時)

●効能・効果、用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

PRT1206C02

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
 本製品に包装されている個々の製剤を単独、もしくは本製品の効能・効果以外の
 目的に使用しないこと。また、用法・用量のとおり、同時に服用すること。

新発売 **ラベキュア** パック 400・800 [薬価基準収載]
 <ラベプラゾールナトリウム錠、アモキシシリン錠、日本薬局方クラリスロマイシン錠>

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
 本製品に包装されている個々の製剤を単独、もしくは本製品の効能・効果以外の
 目的に使用しないこと。また、用法・用量のとおり、同時に服用すること。

新発売 **ラベファイ** パック [薬価基準収載]
 <ラベプラゾールナトリウム錠、アモキシシリン錠、日本薬局方メトロニダゾール錠>

製造販売元 **Eisai** エーザイ株式会社
 東京都文京区小石川4-6-10
 製品情報お問い合わせ先：
 エーザイ株式会社 hhcホットライン
 フリーダイヤル 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日9~17時)

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

RAB1401C02

「第15回臨床消化器病研究会」開催のお知らせ
 消化管の部 症例募集のお知らせ

【消化管の部】

[3セッション]

■8:50~10:40

主題1 大腸：「狭窄を来す大腸疾患」

司会：鶴田 修先生(久留米大学医学部 消化器病センター 内視鏡診療部門)
 山野 泰穂先生(秋田赤十字病院 消化器病センター)
 病理指導：二村 聡先生(福岡大学医学部 病理学講座)

■10:50~12:40

主題2 食道：「食道扁平上皮癌の深達度診断—食道学会拡大内視鏡分類の有用性—」

司会：門馬 久美子先生(がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科)
 高木 靖寛先生(福岡大学筑紫病院 消化器内科)
 病理指導：大倉 康男先生(杏林大学医学部 病理学教室)

■13:55~15:45

主題3 胃：「早期胃癌の深達度診断—基本とピットフォール—」

司会：長南 明道先生(仙台厚生病院 消化器内視鏡センター)
 細川 治先生(国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院)
 病理指導：九嶋 亮治先生(滋賀医科大学 臨床検査医学講座)

【肝胆膵の部】

[3セッション]

■8:50~10:40

主題1 肝：「非典型的画像所見を呈した肝細胞癌」

司会：工藤 正俊先生(近畿大学医学部 消化器内科)
 吉満 研吾先生(福岡大学医学部 放射線医学教室)
 病理コメンター：中島 収先生(久留米大学病院 臨床検査部)

■10:50~12:40

主題2 胆：「胆嚢管癌の画像と病理」

司会：柳野 正人先生(名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学)
 花田 敬士先生(尾道総合病院 消化器内科)
 病理コメンター：柳澤 昭夫先生(京都府立医科大学 人体病理学)

■13:55~15:45

主題3 膵：「膵癌とAIPとの鑑別困難例の画像と病理」

司会：蒲田 敏文先生(金沢大学 放射線科)
 山雄 健次先生(愛知県がんセンター中央病院 消化器内科)
 病理コメンター：福嶋 敬宜先生(自治医科大学附属病院 病理診断部)

2014年7月26日(土) 8:45~15:55(予定)

グランドプリンスホテル新高輪
 「国際館パミール」3階「北辰・崑崙」

〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1 TEL 03-3442-1111 FAX 03-3444-1234

参加資格 オープン 会場費 3,000円

共催：臨床消化器病研究会

〈事務局〉「消化管の部」福岡大学筑紫病院 消化器内科
 「肝胆膵の部」手稲溪仁会病院 消化器病センター

エーザイ株式会社(担当：統合マーケティング部 消化器病グループ)

臨床消化器病研究会HP <http://netconf.eisai.co.jp/rinsho-shokaki/>

第15回臨床消化器病研究会 「消化管の部・演題募集」について

消化管の部では、各主題で検討する症例を公募いたします。

消化管の部 主題症例募集

「主題のねらい」に即した症例があれば、「症例申込票」・「画像・病理データ」をCDに保存のうえ、事務局宛にお送りください。

※「症例申込票」は、エーザイ株式会社担当者または、臨床消化器病研究会 HP(<http://netconf.eisai.co.jp/rinsho-shokaki/>)より入手願います。

締め切り：2014年5月23日(金)

送付先：臨床消化器病研究会(消化管)事務局
福岡大学筑紫病院 消化器内科 平井 郁仁 宛
〒818-8502 福岡県筑紫野市俗明院1-1-1
TEL:092-921-1011 FAX:092-929-2630
e-mail: syokaki@fukuoka-u.ac.jp

本研究会では、各セッションの様態をDVDに収録し、研究会終了後に希望者に貸出します。応募にあたっては、予めご承知おきください。

注意事項

1)「抄録」

※「臨床消化器病研究会 症例申込票」を使用し、以下の項目を必ずご記入願います。

- 応募する「領域」「主題」
- 演題名、所属、氏名
- 症例の要旨(400文字以内)
- 症例申込票とともに送りいただく資料の種類、枚数(資料別)

2)「画像・病理データ」

※Powerpointで作成し、以下の画像・病理データをご提出願います。

- 画像所見(X線所見、内視鏡所見など)
 - 切除標本所見(マクロ)
 - 病理組織所見(ミクロ)
 - その他、症例検討に必要な資料
- ※病理標本現物(プレパラート)は、送付しないでください。

3)「症例申込票」、「画像・病理データ」は、CDに保存の上、提出願います。

主題 1 大腸：「狭窄を来す大腸疾患」

司 会：鶴田 修先生(久留米大学医学部 消化器病センター 内視鏡診療部門)

山野 泰穂先生(秋田赤十字病院 消化器病センター)

病理指導：二村 聡先生(福岡大学医学部 病理学講座)

臨床において腹部膨満感、便通異常、イレウス症状などを呈し、大腸に狭窄を指摘する症例は少ない。狭窄の原因として、一般的には2型進行大腸癌が多いと考えられるが、4型、5型進行癌もあり、さらに原発性腫瘍に限らず他臓器癌からの転移、浸潤にて狭窄を来す場合もある。また、炎症性腸疾患、感染性腸炎、腸間膜脂肪織炎、腸管虚血などでも狭窄を来す場合がある。内視鏡検査主流の現在においてこれらの疾患を鑑別することは困難なこともあり、厳密な鑑別には注腸バリウム像、CT画像も含めた総合的検査所見が重要となる。

本セッションでは、様々な原因により生じる大腸狭窄の画像診断に関して知見を得ることを目的とした。一部指定公募にて演題を募集したい。

主題 2 食道：「食道扁平上皮癌の深達度診断－食道学会拡大内視鏡分類の有用性－」

司 会：門馬 久美子先生(がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科)

高木 靖寛先生(福岡大学筑紫病院 消化器内科)

病理指導：大倉 康男先生(杏林大学医学部 病理学教室)

表在型食道扁平上皮癌では、治療法選択のために深達度診断が行われているが、通常観察の深達度診断には限界があり、最近では、病変の詳細な深達度診断を行うために、多くの施設で拡大観察が行われている。しかし、拡大観察にて色々な所見が見られた場合、どの所見を有意に読影すべきか、病変の形態はどの程度考慮すればよいのか、また、通常観察所見と拡大観察所見が乖離する症例では、どちらの所見を参考に診断を行えばよいのかなど、深達度診断に苦慮する場合もある。

本セッションでは、様々な形態を示す病変の拡大観察所見と病理組織所見を比較検討し、拡大内視鏡分類の有用性について論じたい。多くの症例の募集を期待する。

主題 3 胃：「早期胃癌の深達度診断－基本とピットフォール－」

司 会：長南 明道先生(仙台厚生病院 消化器内視鏡センター)

細川 治先生(国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院)

病理指導：九嶋 亮治先生(滋賀医科大学 臨床検査医学講座)

ESDや腹腔鏡手術などの縮小手術においては厳格な適応が定められており、適応に合致するか否かの判断は不可欠である。中でも深達度診断は最も大切なファクターであり、重要性を増している。このような背景のもと、今回は早期胃癌の深達度診断を再びテーマに取り上げた。

内視鏡における胃癌診断の基本は通常観察である。深達度診断では、十分に胃壁を伸展させた状態で接線方向から観察し、硬化像の有無を診断する。さらに空気量や方向を変えながら観察し診断を確定する。内視鏡のみでは診断が困難な時は、X線検査や超音波内視鏡(EUS)などによる診断が有用となる。

これぞ典型的なSM癌という症例、M癌と診断したらSM癌(あるいは進行癌)であった症例、逆に浅かった症例、X線検査やEUSが診断に有用であった症例など、深達度診断に関わるさまざまな症例を公募する。選りすぐりの症例を通して深達度診断の根拠となる所見をともに学びたい。

多くの症例の応募を期待する。